

# 第27期 第2四半期 決算説明会資料

---

---

2010年11月  
テクマトリックス株式会社

# 目次

---

---

- ① 2011年3月期第2四半期の実績
- ② 2011年3月期見通し

## 〈ご案内〉

本資料に記載された見解、見通し、ならびに予測等は、資料作成時点での弊社の判断であります。その情報の正確性を保障するものではありません。市場環境等の様々な要因により、今後の業績は本資料の内容と異なるものとなる可能性があります。ご承知おきのほど、お願い申し上げます。

# 2011年3月期(27期) 第2四半期実績

# ハイライト【連結】

## 【成約の状況】

- 成約高: **6,559**百万円
- 前年同期比: **91.4%**



- 急激な円高・株安の進行、IT投資回復に水を差された状況
- 9月も同じ傾向継続

## 【売上の状況】

- 売上高: **6,605**百万円
- 前年同期比: **100.3%**



- 単体の売上高は**4,850**百万円、前年同期比**1.0%**減、カサレアル連結効果により連結は微増
- 地方拠点が貢献

## 【利益の状況】

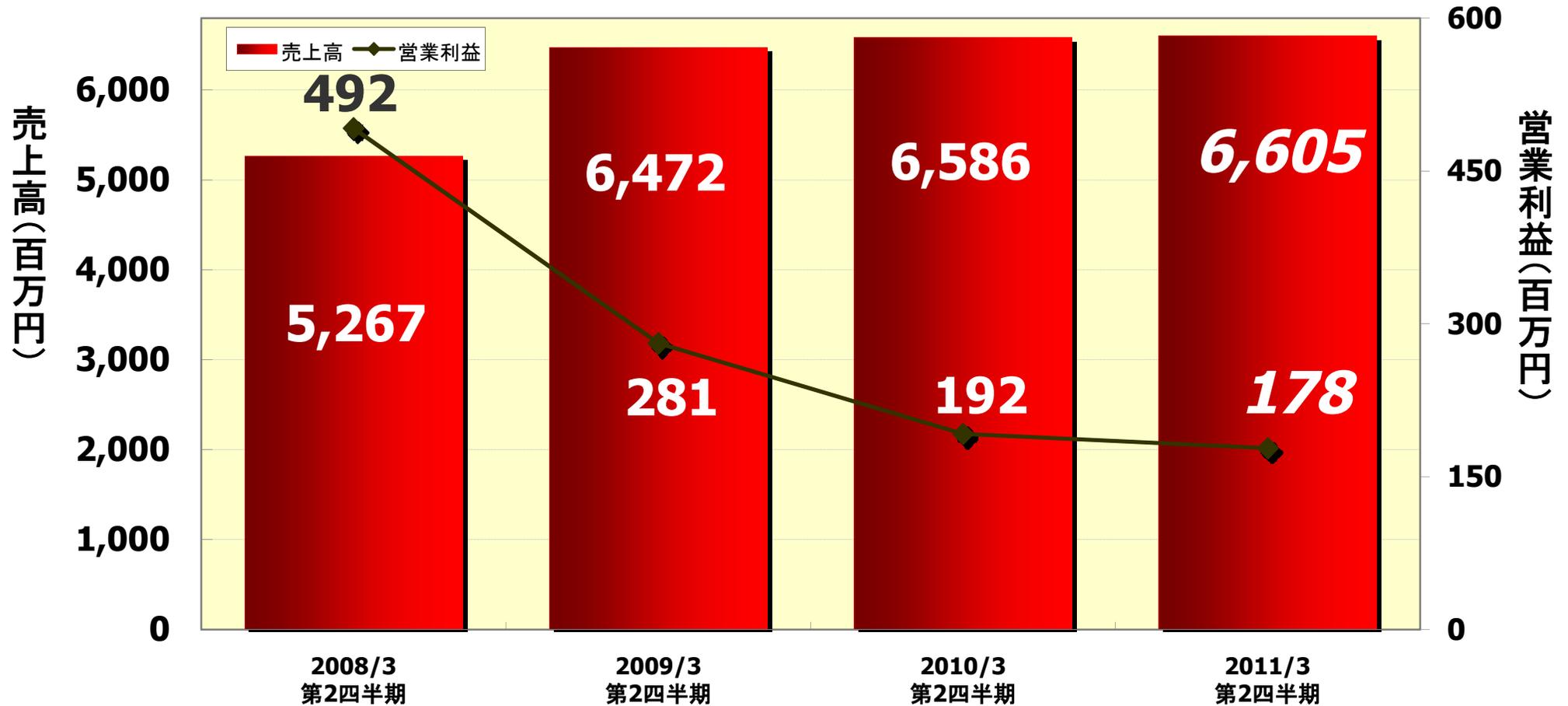
- 営業利益: **178**百万円  
売上比率: **2.7%**(前年同期 **2.9%**)
- 経常利益: **184**百万円  
売上比率: **2.8%**(前年同期 **3.2%**)



- 当初計画(営業利益:**280**百万円)比で大  
幅未達成(▲**36.4%**)
- 情報基盤事業は黒字も、アプリケーション・サービス事業が営業赤字

- 東京証券取引所市場第二部に上場
- グループ全体でクラウド型ビジネスの強化(**SaaS,HaaS**サービス開始)

# 業績の推移【連結】



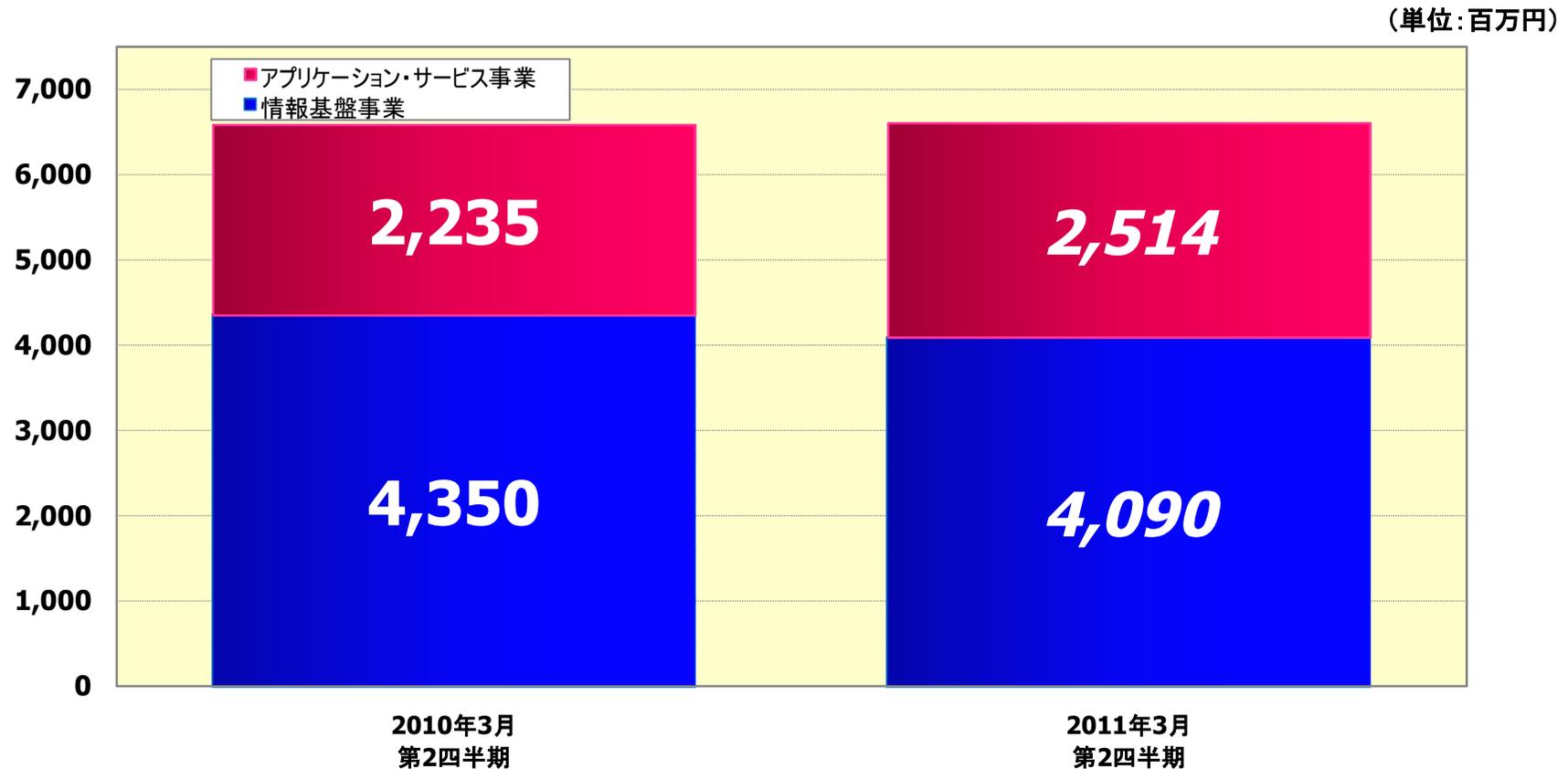
## 四半期業績の推移【連結】

(単位:百万円)

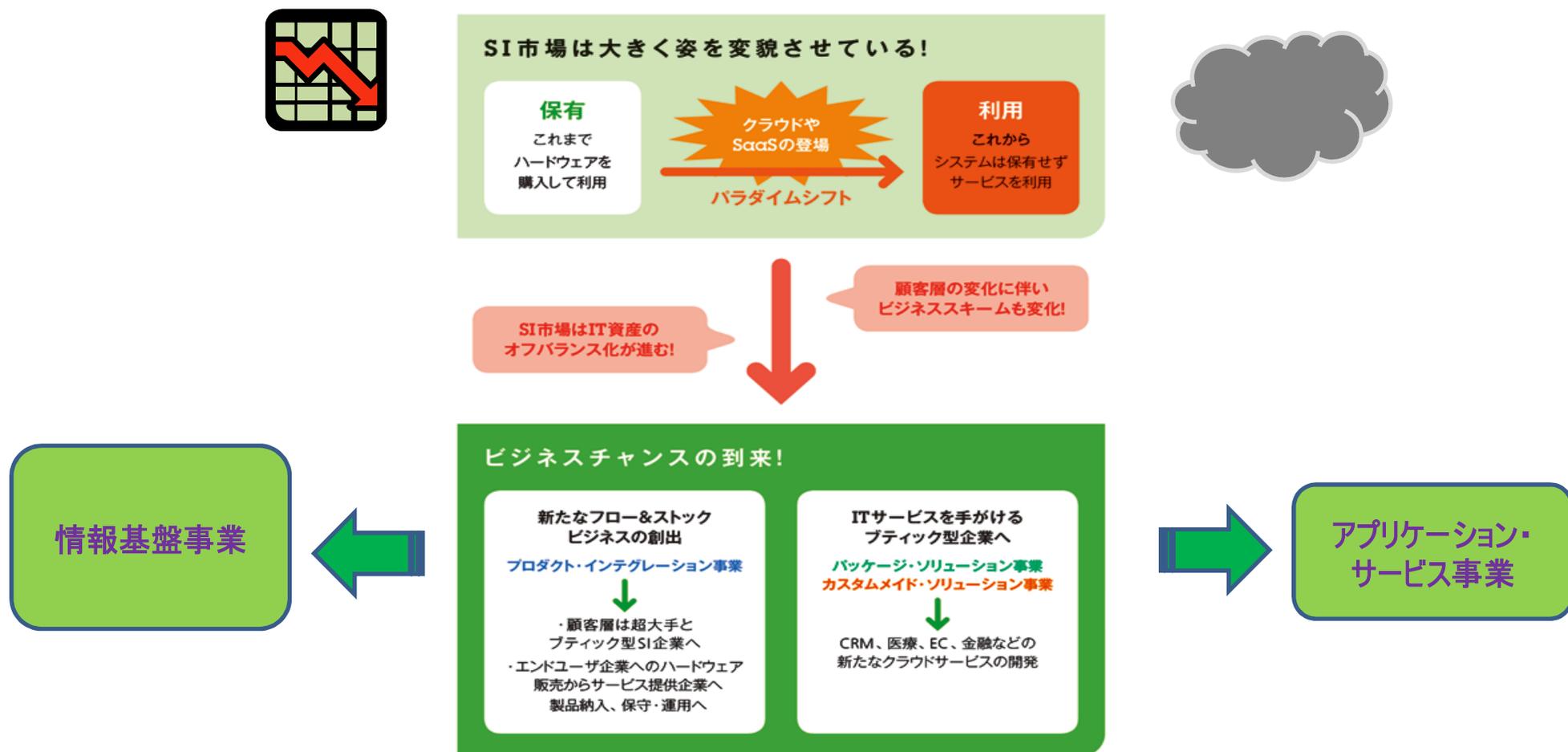
	2009年3月期 売上/営業利益	2010年3月期 売上/営業利益	2011年3月期 売上/営業利益
Q1	2,839/ 17	3,059/ ▲12	3,049/ ▲22
Q2	3,632/263	3,527/204	3,555/201
	6,472/281	6,586/192	6,605/178
Q3	3,015/ 46	3,206/ 9	
Q4	3,950/412	4,455/544	
通期	13,438/740	14,248/746	

# セグメント別売上【連結】

- 情報基盤事業は製品販売が苦戦するも、クロス・ヘッド、沖縄クロス・ヘッドの請負業務が堅調に推移
- アプリケーション・サービス事業は継続取引先とのビジネスが堅調に推移したものの、CRM分野で苦戦



# 業界環境の変化と当社の戦略



# 情報基盤事業

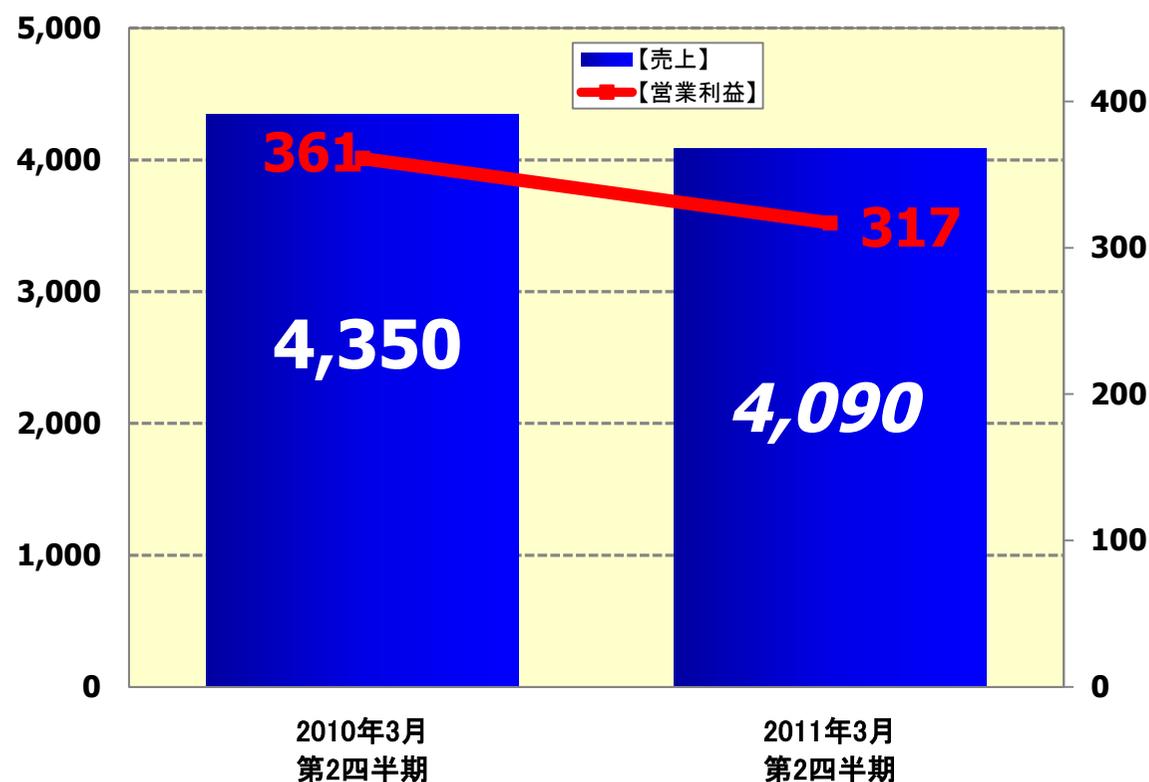
■ 2011年3月期第2四半期の概況: 売上は4,090百万円(前年同期比 6.0%減)

## ■ ハイライト

- 円高の影響により企業の投資設備意識が低下
- 主力の負荷分散装置を始め、製品販売やインテグレーションサービスが苦戦
- 地方拠点では協業パートナーとの連携により官需の取り込みで好調
- 次世代ファイアウォールの製品の引き合いが活発化
- クロス・ヘッド、沖縄クロスヘッドのネットワーク保守／運用／監視等請負業務は堅調に推移
- NCLCは製品販売が苦戦。クロス・ヘッドとの協業により、コスト低減・新規プロダクトの立ち上げに取り組む

## 【売上高推移】

(単位:百万円)

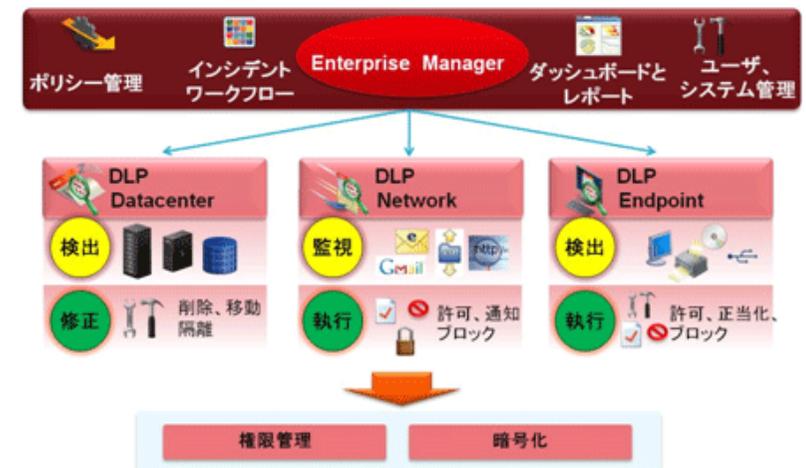


## 新規製品のご紹介: RSA Data Loss Prevention(RSA DLP)

**RSA DLP** は、企業の情報インフラを構成する  
 ①エンドポイント、②ネットワーク、更には③データ  
 ベース&ストレージといった、ITシステム全域をカ  
 バーする「情報漏えいソリューション及びデータ損  
 失防止ソリューション」です。これら**3**つの領域にお  
 いて機密データの監視・保護(隔離、移動、削  
 除)、機密データの適切な処理を利用者に通知  
 するなど、企業内の重要データの不正、または意  
 図しない外部流出を防ぎます。



The Security Division of EMC



# 沖縄クロス・ヘッドのクラウド事業の取り組み



クラウド型HaaS(Hardware as a Service)「CUMO(キューモ)」

クラウド型HaaSとは、高性能なコンピューターをユーザが購入することなく、ユーザー自身がインターネットを通じて利用できるようにするサービスです。

新たなサービスの開発や事業拡大を行う際に、必要最低限の環境を即時に用意できるため、企業の成長に併せたサービスを提供することが可能になります。

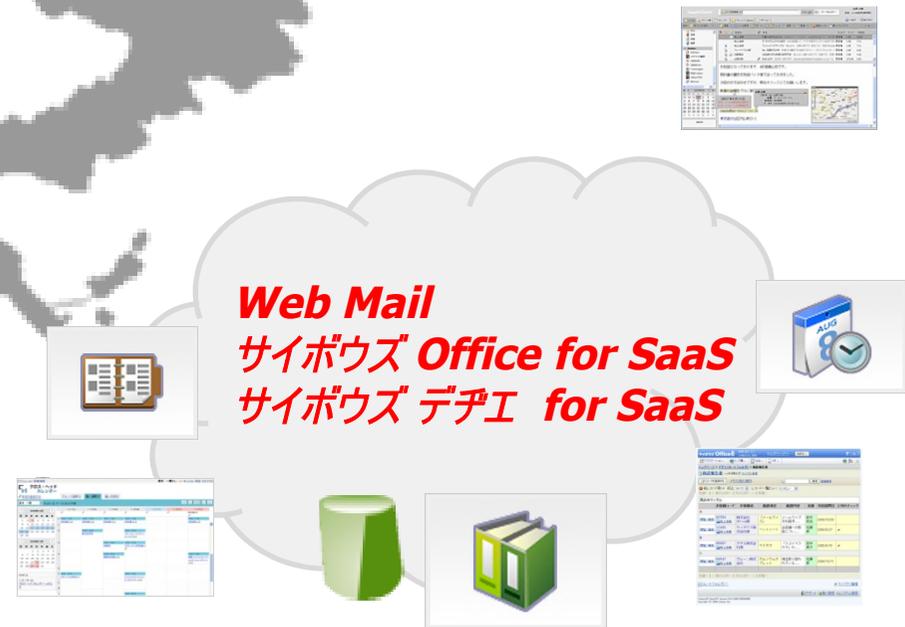
GIX: 国際間インターネット相互接続ポイント



沖縄 - 香港直結  
低価格・高速 光回線

GIX: Global Internet Exchange

**Web Mail**  
サイボウズ Office for SaaS  
サイボウズ デヂェ for SaaS



## 製品のご紹介：Palo Alto Networks(パロアルト)

パロアルトネットワークスの次世代ファイアウォールソリューションは、これまでのポート番号やプロトコルベースのファイアウォールでは不可能であった、「アプリケーション」、「ユーザ」、「コンテンツ」といった要素での制御をポリシーベースで実現し、企業や組織において脅威となる“ファイアウォール越え”をいとも簡単に行うアプリケーションに対して、即座に対策を施すことが可能です。



【創設者】  
Nir Zuk (ニア・ズーク)氏



2010年6月11日開催 セミナー会場の様子

# アプリケーション・サービス事業

■2011年3月期第2四半期の概況：売上は2,514百万円（前年同期比 12.5%増）

## ■ハイライト

### ●ソフトウェア品質保証分野

- ・組み込みソフトウェアの品質向上、機能安全の必要性が高まる—テストツール、アーキテクチャ分析ツールの販売が好調

### ●インターネットサービス分野

- ・継続取引先とのビジネスは堅調
- ・新SaaSサービス「楽楽バックオフィス」の発表
- ・カサレアルは開発事業が堅調、一方、教育事業は景気の後退をうけて苦戦

### ●金融分野

- ・証券会社、大手商社向けの大型案件の受注を獲得

### ●医療分野

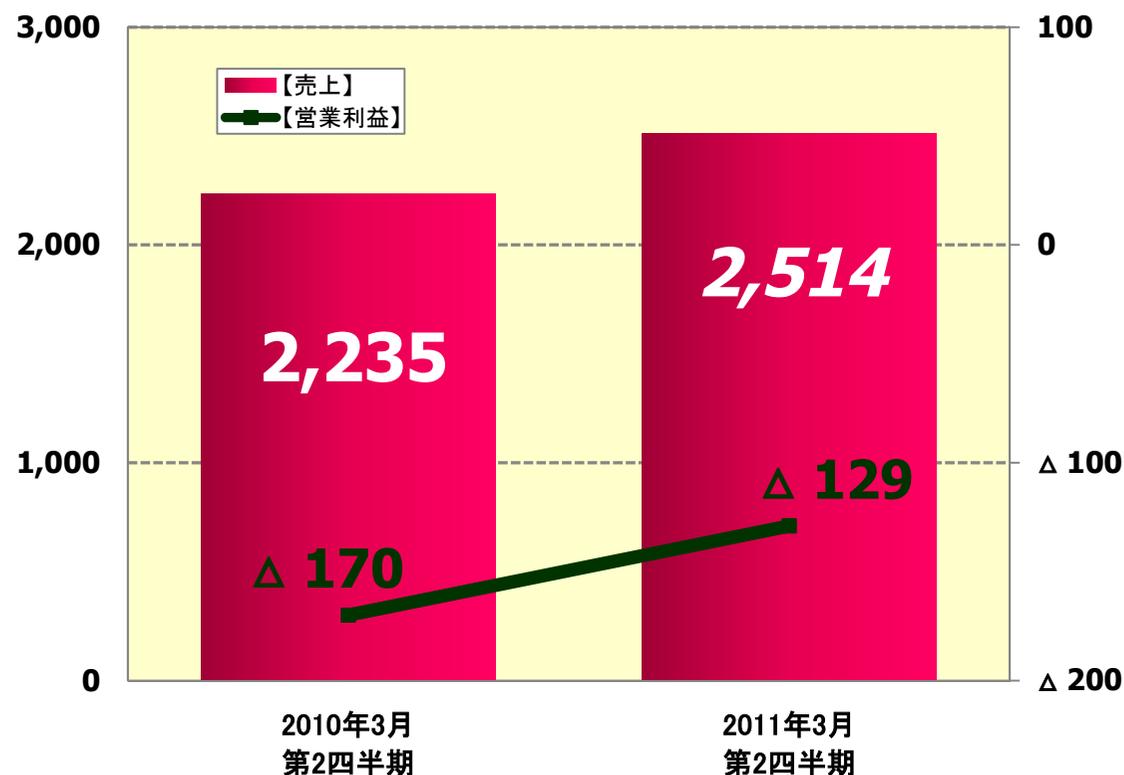
- ・競合他社とのし烈な競争が継続。売上・採算面は改善
- ・地方拠点が貢献

### ●CRM分野

- ・景気低迷を受けて、初期投資を必要としないSaaSビジネスが想定以上に増加した結果、売上・採算面で苦戦

【売上高推移】

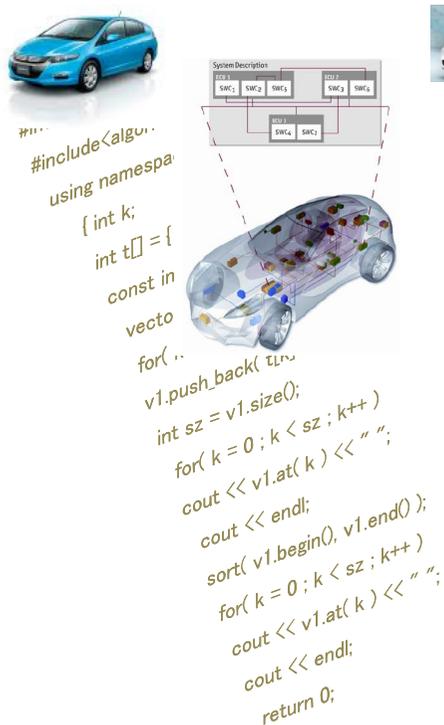
（単位：百万円）



# 組込みソフトウェア開発における「機能安全規格」

自動車、航空機、医療機器、電子機器は人命にかかわる機器であり、ハードウェアとソフトウェアで構成されています。システムとして安全に動作するためにソフトウェアの役割はより大きくなっています。ソフトウェアの品質は重要なテーマです。

## ■ISO 26262 自動車



## ■IEC61508 電気・電子機器関連



## ■IEC 62304 医療機器



参考:

ISO: International Organization for Standardization 国際標準機構 : 電気及び電子技術を除くすべて産業分野対象  
IEC: International Electrotechnical Commission 国際電気標準会議 : 電気及び電子技術分野の国際規格

## 新規製品のご紹介: Parasoft Concerto (コンチェルト)

**Parasoft Concerto** はソフトウェア開発ライフサイクル全般を通して、ソフトウェアの開発進捗と品質の管理を支援するソフトウェア開発管理プラットフォームです。**Parasoft** ツールだけではなく、さまざまなツールとシームレスに連携でき、既存の開発環境と統合できます。

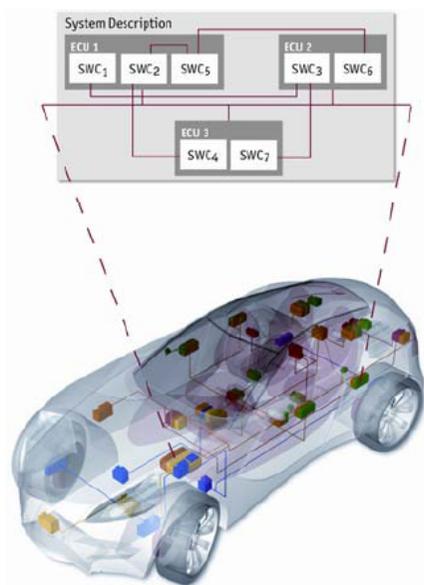
PARASOFT.  
**Concerto**<sup>™</sup>  
A Parasoft AEP Technology<sup>™</sup>



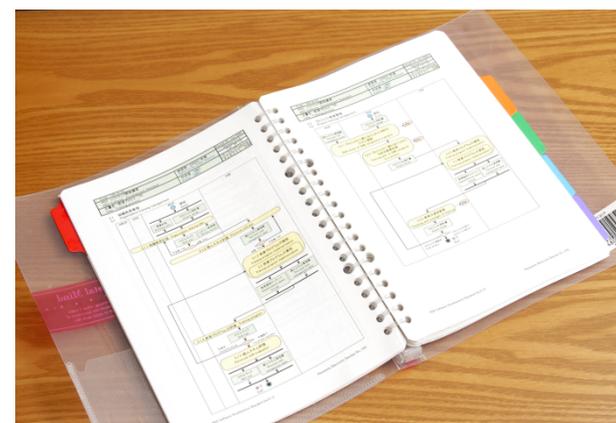
## 導入事例紹介：パナソニック・エレクトロニクス株式会社様

「自動車メーカーのお客様は、“ゼロディフェクト”（一切、ご迷惑をおかけしないという意）と言われるように信頼性、品質保証に対して厳しい要求があります。

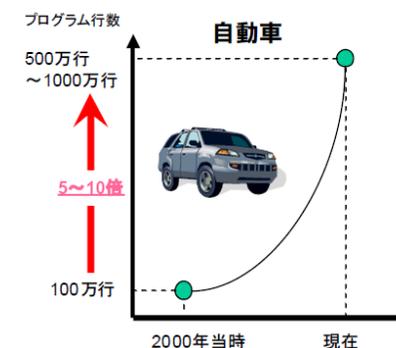
そうしたお客様のご要望にお応えするために、高品質の組み込みソフトウェアを提供するための取り組みを始めました」



```
#include<iostream>
#include<vector>
#include<algorithm>
using namespace std; int main()
{ int k;
int t[] = { 1, 8, 6, 3, 9, -2, 0, 5, };
const int n = sizeof t / sizeof t[0];
vector<int> v1;
for( k = 0 ; k < n ; k++)
v1.push_back( t[k] );
int sz = v1.size();
for( k = 0 ; k < sz ; k++)
cout << v1.at( k ) << " ";
cout << endl;
sort( v1.begin(), v1.end() );
for( k = 0 ; k < sz ; k++)
cout << v1.at( k ) << " ";
cout << endl;
return 0;
}
```



パナソニックエレクトロニクスデバイス様が策定した  
「ソフトウェア開発標準」



# 新規サービスのご紹介：楽楽バックオフィス



「楽楽バックオフィス」は、当社が**EC**サイト構築を含む**Web**システム開発で培った技術や業務ノウハウと、楽天株式会社とのシナジーを活かして提供する**SaaS**型の店舗業務支援システムです。楽天市場などのモールに出店しているネットショップの受注管理、配送管理、在庫管理等のバックオフィス業務を大幅に自動化し、店舗の負担を軽減するクラウドサービスで、ネットショップ様の商品企画・開発、マーケティング、顧客満足度の向上等、店舗の拡大・発展に向けて活用されています。



## 導入事例紹介：株式会社柳屋本店様

1615年創業の柳屋本店様は、髪の手入れを守る「柳屋 あんず油」シリーズや育毛剤、ヘアカラー等を含む「化粧品」を四半世紀、提供しています。根強いシニア世代のファンの皆様がいる一方で、積極的に行った広告宣伝の結果、若い世代からの問い合わせが増加し、お客様からの意見・要望を「より確かな品質」の商品へ反映させるため、コンタクトセンターシステム「FastHelp SaaS」の導入いただきました。

**FastHelp**SaaS

**柳屋本店**

<http://www.yanagiya-cosme.co.jp/>



# 損益計算書(P/L)【連結】

- グループの人員増等に伴う販売費及び一般管理費が前期比4.1%増加
- 営業外費用として東京証券取引所市場第二部への株式公開費用を計上

(単位:百万円)

決算年月	当Q2	前Q2	前期
売上高	6,605	6,586	14,248
売上総利益	2,217	2,151	4,785
利益率	33.6%	32.7%	33.6%
営業利益	178	192	746
利益率	2.7%	2.9%	5.2%
経常利益	184	208	786
利益率	2.8%	3.2%	5.5%
四半期(当期)純利益	33	72	336
利益率	0.5%	1.1%	2.4%

# 貸借対照表(B/S)【連結】

(単位:百万円)

	当Q2	前Q2	前期		当Q2	前Q2	前期
<b>資産の部</b>				<b>負債の部</b>			
<b>流動資産</b>	<b>7,736</b>	<b>7,106</b>	<b>8,620</b>	<b>流動負債</b>	<b>5,116</b>	<b>4,678</b>	<b>5,803</b>
現金・預金	3,049	2,394	2,821	買掛金	835	862	1,335
受取手形・売掛金	2,748	2,752	3,927	短期借入金	390	356	390
棚卸資産	221	359	242	その他流動負債	3,891	3,460	4,077
前払保守料	1,352	1,232	1,246	<b>固定負債</b>	<b>818</b>	<b>705</b>	<b>786</b>
その他流動資産	362	367	381	<b>負債合計</b>	<b>5,934</b>	<b>5,384</b>	<b>6,590</b>
<b>固定資産</b>	<b>3,164</b>	<b>3,093</b>	<b>3,054</b>	<b>純資産の部</b>			
有形固定資産	354	341	297	<b>株主資本</b>			
無形固定資産	1,559	1,583	1,540	資本金	1,298	1,298	1,298
投資等	1,249	1,168	1,217	資本剰余金	1,405	1,405	1,405
<b>資産合計</b>	<b>10,900</b>	<b>10,199</b>	<b>11,675</b>	利益剰余金	1,939	1,793	2,057
				<b>株主資本合計</b>	<b>4,643</b>	<b>4,496</b>	<b>4,760</b>
				評価・換算差額等	△17	2	4
				新株予約権	12	12	12
				少数株主持分	327	303	307
				<b>純資産合計</b>	<b>4,965</b>	<b>4,815</b>	<b>5,084</b>
				<b>負債純資産合計</b>	<b>10,900</b>	<b>10,199</b>	<b>11,675</b>

# 2011年3月期(27期) 見通し

## 2011年3月期（27期）見通し 【連結】

- 通期見通しは据え置き
- 受注残高は4,288百万円(前期比 5.4%減)、内今期売上予定は2,304百万円強(単体)
- 下期は上期に仕込んだ複数の大型案件への期待

	2011年3月期 通期見通し	2011年3月期 Q2実績	進捗率	2010年3月期 通期実績
売上高	<b>15,500</b>	<b>6,605</b>	<b>42.6%</b>	<b>14,248</b>
営業利益	<b>880</b>	<b>178</b>	<b>20.3%</b>	<b>746</b>
経常利益	<b>880</b>	<b>184</b>	<b>21.0%</b>	<b>786</b>
当期(四半期)純利益	<b>340</b>	<b>33</b>	<b>9.9%</b>	<b>336</b>

## 各セグメント別売上見通し【連結】

	2011年3月期 通期見通し	2011年3月期 Q2実績	進捗率	2010年3月期 通期実績
情報基盤事業 ・ネットワーク/セキュリティ	<b>9,400</b>	<b>4,090</b>	<b>43.5%</b>	<b>8,776</b>
アプリケーション・サービス事業 ・インターネットサービス ・金融 ・ソフトウェア品質保証 ・医療 ・CRM	<b>6,100</b>	<b>2,514</b>	<b>41.2%</b>	<b>5,472</b>
全社	<b>15,500</b>	<b>6,605</b>	<b>42.6%</b>	<b>14,248</b>

本日はご清聴いただき  
誠にありがとうございました。

＜お問合せ先＞  
テクマトリックス株式会社  
企画部 経営企画課  
TEL:03-5792-8601  
[ir@techmatrix.co.jp](mailto:ir@techmatrix.co.jp)